



▼第40回郡町対抗駅伝大会で8年ぶり2度目の優勝を果たした本町チーム



## 本町チームが8年ぶり優勝

12月20日（日）第40回郡町対抗駅伝大会

春菜競技者（熊本第一高・吉田区）、5区・藤田彩花競技者（甲佐中1年・芝原区）、6区・岡崎亮競技者（同中3年・下横田区）、7区・渡辺大智競技者（国府高3年・山出区）、8区・井藤孝暢競技者（上早川三区）がたすきをつなぎました。区間賞には、6区の岡崎競技者、7区の渡辺競技者、8区の井藤競技者が輝きました。

12月20日（日）第40回郡町対抗駅伝大会が開催され、本町チームが優勝しました。上益城郡体育協会などの主催で行われる同大会は、郡内の5町から男女混合6チームが出場。御船町役場をスタートし、益城町総合運動公園陸上競技場をゴールとする8区間37・8キロで競いました。本町チームは、2時間11分19秒で8年ぶり2度目の優勝を果たしました。1区・荒瀬洲水競技者（甲佐中2年・東寒野区）、2区・上田真路競技者（熊本工高・上田口区）、3区・梅本裕也競技者（和町内区）、4区・内村

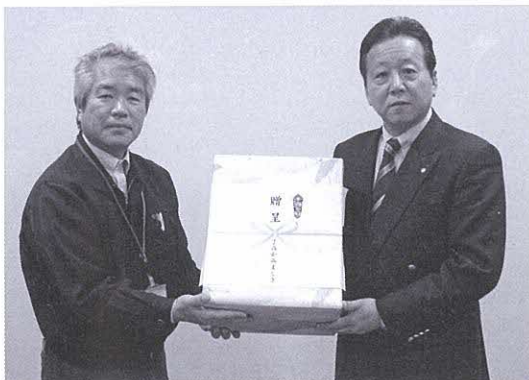
## うがい茶で風邪を予防

上益城農協から小学校にうがい茶を贈呈

12月11日（金）上益城農業協同組合（藤木眞也組合長）から町内4小学校にうがい用の緑茶40キロ（約30日分）が贈呈されました。

上益城農協では、地域貢献活動の一環として、児童の健康維持のため、風邪が流行する前のこの時期に毎年贈呈。緑茶によるうがいは、緑茶に含まれるカテキンが風邪などの予防効果があり、また、フッ素も含まれているため、虫歯予防にも最適とされています。

同甲佐支所・村田浩支所長は、「うがい茶を活用して、風邪予防に取り組んでください」とあいさつしました。



▲奥名町長にうがい用の緑茶を贈呈する村田支所長



▲地域住民とともに力いっぱいもちをつく児童

## みんなでもちつき楽しいな

12月15日（火）甲佐小でもちつき体験

12月15日（火）甲佐小学校（赤星法真校長172人）で、もちつき体験が開催されました。同体験は、総合的な学習の一環として、地域住民などのボランティアの参加協力を得て自然の中で行う体験学習などに取り組み、子どもたちの豊かな心をはぐくむことを目的に同小が主催。同小5年生27人（下八重雄大教諭）が、地域住民や保護者など約20人と一緒にきねとうすでもちつき体験を行いました。児童たちは、地域住民からきねの振り方を教わり、大きく掛け声を掛けながらもちをつき、つき上がったもちにあんこを包んで丸めてあんこもちを作りました。



## 遊休農地でそば作り

上早川北部資源保存会がそば祭りを開催

12月6日（日）龍野福祉ふれあいセンターで、「そば祭り」が開催されました。

同祭りは、耕作放棄地の解消と地域住民の交流を図ることを目的として地域住民で結成された上早川北部資源保存会（田上晴二代表）が主催。同会では、地域の水田を守るために、遊休農地を活用してソバの植え付けから収穫までを平成21年から取り組んでいます。

当日は、同会員などで120人分のそばやおにぎりを用意。多くの地域住民などが集まり、出来立てのそばに舌鼓を打ちました。



▲保存会による出来立てのそばに舌鼓を打つ地域住民たち



▲甲佐発電所導水路の内部を見学する参加者

## 歩いて健康な体を保とう

甲佐町ノルディックウォーキング教室

12月12日（土）甲佐町ノルディックウォーキング教室が開催されました。

同教室は、町民の健康の保持増進と体力づくりを目的として町教育委員会が主催。全日本ノルディックウォーク連盟指導部の稲田眞一さんの指導の下、参加者22人が川平キャンプ場を発着とする約7kmのコースを元気によく歩きました。

コース途中の(株)九州電力甲佐発電所導水路トンネルでは、同社職員が同発電所の役割やトンネルが出来るまでの工程などを説明。参加者たちは、ウォーキングとともにトンネル内部の見学も楽しみました。

## 人権についてみんなで考えよう

平成27年度甲佐町「人権週間」



▲人権集会の講演会では、講師の坂本さんが食肉加工の仕事の中で感じたかけがえのない命の大切さを熱く参加者に訴えた

12月4日（金）～10日（木）、平成27年度甲佐町「人権週間」が実施されました。

同週間は、甲佐町「人権週間」実行委員会（豊永康法会長）、町、町教育委員会が主催。同和問題などのあらゆる人権問題の解決や基本的人権の尊重、町民の人権意識の普及と高揚を目的に、毎年実施しています。

期間中は、特設人権（法律）相談の開設、街頭や企業訪問による人権啓発広報活動の実施、書道や標語など人権作品の展示などが行われました。

同週間のメイン行事として、12月5日（土）町生涯学習センター・ホールで、第33回甲佐町「人権週間」町民集会を開催。約140人が参加し、町内の児童・生徒による人権作文や体験活動の発表などがありました。

人権講演会では、講師の坂本義喜さんが「いのちと仕事～いのちをいただく～」という演題で講演。自身の生い立ちから学んだ命の大切さについて参加者に訴えました。集会の後には人権パレードも行って、人権意識を高めました。